

えんたくつーしん

No.6

令和3年2月発行

「絆で織りなす 住みよいまち上京」へ

令和2年度 上京区まちづくり円卓会議拡大会議 「上京！MOW」開催！

令和2年10月27日（火）上京区の新しいまちづくりを生み出す場、「上京！MOW」をコロナ対策のため、オンライン会議システム「Zoom」を活用して開催しました。Zoomでは40名以上が参加し、この指とまれ形式（テーマを募集し、話したいテーマに参加者を募る）で実施しました。対面では、円卓委員7名が参加しました。下記のとおり、次期基本計画の策定につながる実現可能性のある面白いアイデア、提案をいただきました。

まちの語り部サミット

ローカルガイドを集めて、まちの魅力発信と入居希望者向けにガイドを展開していく。

- ・大学生向けにもできる
- ・不動産事業者とコラボ
- ・地域特化、住まい方のガイド
- ・ガイドの存在をもっとPR
- ・多様な分野の調整が必要

捨てられるはずのものの活用

ある業種でゴミとして捨てられるものを、他の業種で活用できないか。使えそうな物を集めることで地域の産業について理解し、様々な交流が生まれるのでは。

- ・すでに実践している人がいる
- ・ジャンル分け、リスト化の方法

京都御苑のPRと活用

世界中の人に来てもらいたい、若い人にも交流の場として使ってもらいたい。

- ・SNS、YouTubeの活用
- ・学生はどこで知れるかわからない
- ・写真の展示、フォトコンテスト
- ・学生と関わる

YONDE！プロジェクト

郵送物が多くて困っている人を、web等を使って支援する仕組みづくり。

- ・立場で使うツールが変わる
- ・ニーズのすり合わせが必要
- ・読むだけ/説明が必要、で変わる
- ・音声データ+QRコード
- ・マンパワーで解決できることも

GPSアートを使ったオンラインごみ拾いパトラン

GPSアート。ランニングアプリの走った軌跡を残せる機能を用いて、地域の防犯パトロールやごみ拾いを行う。

- ・独居高齢者の見守り
- ・地域と連携
- ・危険箇所チェック



西陣の路地の活用

子供にとって安全な空間であり、特徴の一つでもある路地を活用して、地域を活性化したい。

- ・水バケツ、消火器を路地の雰囲気にもマッチするようにデザイン
- ・子どもの遊び場
- ・高齢者の体操の場
- ・「つくる」をキーワードに

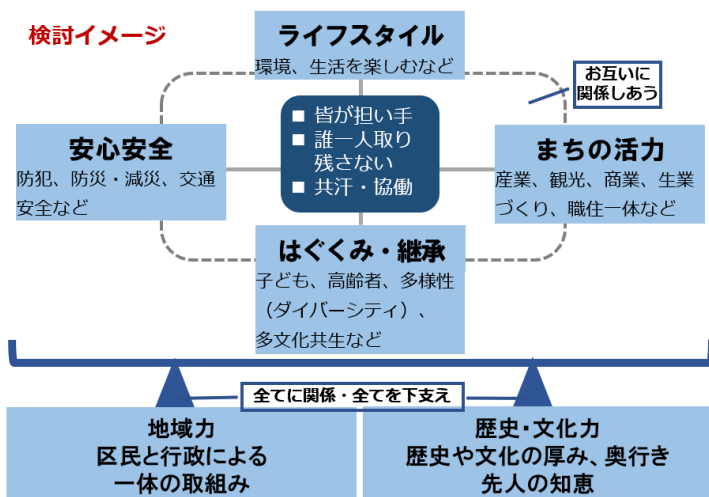


その他の意見

- ・新型コロナが収束してもオンラインは継続される
→勉強してみようかな
- ・オンライン、オフラインの併用は難しい
- ・地域活動がストップし再開できるか心配
- ・工夫して地域活動を実施している
- ・地域活動の場所：お寺と協力できないか

第2回上京区まちづくり円卓会議の様子

次期上京区基本計画の策定に向けて、4つの部会に分かれ、計画素案を基に活発な意見交換が行われました。



ライフスタイル 部会



同志社大学政策学部
小谷 真理 准教授

<将来像Ⅰ> 幸せを分かち合うまち

- 推進施策 1 文化を大切にするまちづくり
推進施策 2 多様な絆で支えるまちづくり
推進施策 3 人にも環境にもやさしいまちづくり

幸せを分かち合う →個々の価値観を尊重	地域行事の継続 →これまで通りは困難、それをどうポジティブに表現するか	文化 →伝統文化に偏っていないか	自治会町内会 →絆でつながるといった意味合いを入れられないか
結びつきの在り方をわかりやすい表現にしては	新旧の住民がふれ合うことができた	本当の豊かさともちづくりがつながるように	物を大切にする精神を引き継いで、暮らすスタイル＝環境にやさしい

安心安全 部会



立命館大学理工学部
大窪 健之 教授

<将来像Ⅱ> 心安らかに暮らせるまち

- 推進施策 1 体感治安の高いまちづくり
推進施策 2 「自助」・「共助」・「公助」が連携した災害に強いまちづくり
推進施策 3 交通安全の意識が高いまちづくり

学生、単身者への取組例も必要	自転車盗の取組例が必要	空き家、ごみ屋敷 →家屋に関する諸問題に統合しては	リード文に帰宅困難者も追記
リード文に感染症の事を入れるべき	スーパーや宿泊施設の協力も求めている	歩行者のマナー向上も入れるべき	避難場所を地域の掲示板等で紹介してほしい

まちの活力 部会



立命館大学経営学部
吉田 満梨 准教授

<将来像Ⅲ> 賑わいを創出し、豊かさを実感できるまち

- 推進施策 1 地域産業の活性化と魅力発信
- 推進施策 2 大学や地域と連携して進めるまちづくり
- 推進施策 3 商店街等の活性化
- 推進施策 4 空き家等を活用したまちづくり
- 推進施策 5 豊かな地域資源を活かした上京型観光の推進

リード文は前向きな表現にした方がよい	リード文に関係人口にも触れており、方針にも入れたほうがよい	ものづくりの世界に若い人が入る仕組みづくり	若い人の定住
技術はあるが企画力や人材が乏しい→カバーするところと連携	学生が自由に使える場所	空き家、空き店舗を活用する取組	観光資源は豊富だが、情報提供の核がない

はぐくみ・継承 部会



京都産業大学法文学部
中井 歩 教授

<将来像Ⅳ> ひとりひとりが輝き、希望の持てるまち

- 推進施策 1 誰もが居場所を持つことができるまちづくり
- 推進施策 2 子どものすこやかな成長を応援するまちづくり
- 推進施策 3 高齢者がいきいきと暮らせるまちづくり

これから入ってくる人とのように一緒にやっていくか、それを踏まえた多様性	自分のことを認めてもらえる環境づくりが重要	受け入れる側が努力する取り組み	若者の定住できる仕事、環境づくりが必要→子ども増加
賑わいと子育てがあつての地域活性化	子育てを支援する機会が少ない	ICTの活用には寄り添いが必要	障害者の自立支援→その人が主役という表現の方が未来志向

新川議長の総括



同志社大学大学院
総合政策科学研究科
新川 達郎 教授

- ・エコロジー、エシカルとは何かという議論は良かった。上京らしい暮らし方を大切にする、それがエシカルな消費やライフスタイルにつながる。
- ・西陣の活力を引き出す材料、貴重な宝があり、学生もいる、空き家も資源。これをうまく引き出して賑わいを作り出す。
- ・生まれてから亡くなるまでのどの段階であれ、充実した暮らしができる住み方、住みやすい場所をどう提供していくか、攻めの姿勢が重要。
- ・文化の意味合いは広い（伝統文化、産業、生活、未来）。
- ・発想を縦割りから横割りに変えることで、リーディングプロジェクトの進め方が変わるだろう。

第2回上京区まちづくり円卓会議の詳細について

資料、摘録はこちら→<https://www.city.kyoto.lg.jp/kamigyo/page/0000278481.html>

12/21(月)

次期上京区基本計画策定に係る学識者 ミーティングを開催！

5名の学識者（新川議長、小谷先生、大窪先生、吉田先生、中井先生）に加え、上京区民会議の上林会長にお集まりいただき、これまでの計画素案を俯瞰し、ブラッシュアップを行いました。ミーティングで出た意見（下記参照）を踏まえ、次期上京区基本計画の策定を進めていきます。

基本理念



地球規模の問題

SDGs. 環境 ← 地域文化・特性

多様な人が集うまちの視点

若い人、大学生、外国人

少子化・人口減少・長寿社会

→ 高齢者が力を発揮する社会

産業の衰退

→ 価値を再定義

将来像1 幸せを分かち合うまち

- 文化のあり方：生活文化（歴史・伝統）
- 分かち合うまち：住民やまちに肉づける視点、新しい多様性
- エコに肉づける理解を進める取り組み

将来像2 心安らかに暮らせるまち

- 感染症 ← 地域で暮らすの維持
- 上京らしい資源を生かす切り口
- 空を家に限らず「家屋」に関する諸問題 ← 空家、民泊、住居の使い

将来像3 賑わいも創出し、豊かさを実感できるまち

- 若い人：定住、働きやすさの仕組み
- 物づくり産業 → 「車と都府」産業
- 肉体的人口：特にプロフェッショナルが必

将来像4 ひとりひとりが輝き、希望の持てるまち

- 将来の人（若人・上京に居る）＝マナー未成熟：迎え入れる
→ コミュニティで活躍
- 高齢者、若い人 etc：上京も元気に暮らす、自己実現、居場所の確保

今後の次期基本計画策定スケジュール（案）

※令和3年2月時点

令和2(2020)年度			令和3(2021)年度			
1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
	R2第3回 上京区民会議 市民意見募集案 確認 R2第3回 上京区まちづくり 円卓会議 市民意見募集案 確認		次期基本計画 市民意見募集		R3第1回 上京区民会議 R3第1回 上京区まちづくり 円卓会議	次期基本計画 策定



京都市
CITY OF KYOTO

お問合せ 上京区役所 地域力推進室 企画担当

(☎ 441-5029 FAX 432-0566 ✉ kamigyo@city.kyoto.lg.jp)

令和3年2月発行 京都市印刷物 第024831号